

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	村落伝承論				
担当教員	小池 淳一				
授業概要	庶民生活の歴史的な展開や民俗的な動態を考える材料として考証随筆や地誌は古くから利用されてきたが、一方で歳時記・季寄せの類に関する注目は低調である。ここでは季語や季題を手がかりとして村落生活における民俗の位相について多角的に考察する。				
教育目標・目的	歴史民俗学の方法論と文字資料解析に関する知識を習得し、実際に多様な資料を用いて民俗事象の分析が実践できるようになることを目的とする。				
成績評価	授業への参加状況（50%）及び発表内容、討論等の内容（50%）				
授業計画	1.導入	9.歳時記の分析（1）			
	2.歴史民俗学の手法（1）	10.歳時記の分析（2）			
	3.歴史民俗学の手法（2）	11.歳時記の分析（3）			
	4.民俗資料の歴史性	12.季語と民俗（1）			
	5.民俗資料の多様な属性（1）	13.季語と民俗（2）			
	6.民俗資料の多様な属性（2）	14.季語と民俗（3）			
	7.考証随筆と民俗研究（1）	15.まとめ			
	8.考証随筆と民俗研究（2）				
実施場所	担当教員研究室および演習室	使用言語	日本語		
前期・後期の別	前期	対象年次	3, 4, 5	単位数	2単位
教科書・参考図書	参考書 小池淳一『伝承歳時記』（飯塚書店、2006年）、同『季節のなかの神々』（春秋社、2015年）				
備考					